2025年7月末

倶楽部 Orchid GW

［クラブオーキッド GW］

変額個人年金保険（災害死亡 50％型）

特別勘定運用レポート

（組入投資信託の運用状況）

特別勘定の名称	投資信託の名称	投資信託の運用会社	ページ
日本株インデックス225ファンド	インデックスファンド225	日興アセットマネジメント株式会社	1
新興国債券インデックスファンド	新興国債券インデックスファンド		2
GWバランス2	グローバル・ラップ・バランス安定成長型	日興アセットマネジメント株式会社 ※運用助言： ＳＭＢＣグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社	3
GWバランス3	グローバル・ラップ・バランス成長型		4
GWバランス4	グローバル・ラップ・バランス積極成長型		5
GWバランス5	グローバル・ラップ・バランス積極型		6
GWバランス6	グローバル・ラップ・バランス超積極型		7
ＳＭＢＣグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社のコメント			8
マネー	SMAM・FGマネーファンドVA	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	9
海外リートインデックスファンド	海外先進国REITインデックスファンド	日興アセットマネジメント株式会社	10

募集代理店

SMBC日興証券

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命

MS&AD INSURANCE GROUP

「倶楽部 Orchid GW」 特別勘定に関するお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、変額個人年金保険（災害死亡 50%型）「倶楽部 Orchid GW」の特別勘定につきまして、下記のとおり投資信託の運用会社の商号変更がございますのでお知らせいたします。
なお、本変更に伴う運用方針などの変更はございません。また、**お客さまにおかれましては、本変更に関して特段必要なお手続き等はございません。**
今後とも末永くお引き立ていただきますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

特別勘定に組入れられている投資信託の運用会社の商号変更について

（1）変更対象

ファンドコード	特別勘定の名称	投資信託の名称
01023	日本株インデックス 225 ファンド	インデックスファンド 225
04016	新興国債券インデックスファンド	新興国債券インデックスファンド
05006	GW バランス2	グローバル・ラップ・バランス安定成長型
05007	GW バランス3	グローバル・ラップ・バランス成長型
05008	GW バランス4	グローバル・ラップ・バランス積極成長型
05009	GW バランス5	グローバル・ラップ・バランス積極型
05010	GW バランス6	グローバル・ラップ・バランス超積極型
07004	海外リートインデックスファンド	海外先進国REITインデックスファンド

（2）変更内容

投資信託の運用会社である「日興アセットマネジメント株式会社」は、2025 年 9 月 1 日付で「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に商号を変更いたします。

変更前	変更後
日興アセットマネジメント株式会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

（3）各種資料における記載について

「商品パンフレット」「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」等におきましては、該当箇所を上記「（2）変更内容」にお読替えいただきますようお願いいたします。

このご連絡に関しまして、お客さまのお手続きは不要です。

以上

本件に関するご照会先
三井住友海上プライマリー生命　お客さまサービスセンター
フリーダイヤル　0120-81-8107 受付時間：月～金（祝日・年末年始を除く）　9：00～17：00
（ハイ、パートナー）
※お問合わせの際は、証券番号または保険証券に記載のお客さま番号をお手元にご用意ください。

特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって

当資料をご覧いただく際にご留意いただきたい事項

・当資料は既に当商品にご加入されたご契約者に対し、三井住友海上プライマリー生命の倶楽部 Orchid GW〔変額個人年金保険（災害死亡 50%型）〕の特別勘定および特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況を開示するためのものです。なお、商品の詳細につきましては、商品パンフレット、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をご覧ください。

・当資料に記載されている運用実績等に関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、［組入投資信託の運用状況］に記載されているコメント等は当資料作成時点の見解に基づくものであり、予告なく変更されることがあります。

・［組入投資信託の運用状況］は、運用会社が作成する運用報告を三井住友海上プライマリー生命が参考情報としてそのまま提供するものであり、内容に関しては、三井住友海上プライマリー生命の責めによるものを除き、三井住友海上プライマリー生命は一切の責任を負いません。

この保険商品についてご確認いただきたい事項

■市場リスクについて

この保険は、払込みいただいた保険料を投資信託等を投資対象としている特別勘定で運用し、その運用実績に基づいて将来の死亡保険金額、解約払戻金額、および年金額等が変動（増減）するしくみの生命保険商品です。特別勘定の資産は、主に国内外の株式・債券等に投資する投資信託を通じて運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、解約払戻金等のお受取りになる合計額が払込まれた保険料を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。これらの特別勘定の運用に伴うリスクはすべてご契約者に帰属します。

■ご負担いただく費用について

この保険では、保険関係費および資産運用関係費等をご負担いただきます。また、一定期間内にご契約を解約・一部解約する場合には、所定の解約控除がかかります。詳しくは次ページ「諸費用について」をご参照ください。

■その他

・変額個人年金保険は特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、ご契約者が投資信託を直接保有するものではありません。

・特別勘定のユニットプライスの値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きと必ずしも一致しません。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有することがあることや、ユニットプライスの計算に当たり保険関係費等の費用を控除すること等によるものです。

諸費用について

この保険の費用の合計は、以下の費用の合計額となります。

積立期間中にご負担いただく費用

1. すべてのご契約者にご負担いただく費用

下記の費用を控除した上で、ユニットプライスは計算されます。

項　目	目　的	費　用	時　期
保険関係費	当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに死亡保険金・災害死亡保険金等を支払うための費用	積立金額に対して年率 2.35%	積立金額に対して左記の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。
資産運用関係費	投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用にかかわる費用	特別勘定ごとに異なります。詳しくは下記をご覧ください。	各特別勘定の資産残高に対して所定の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。

特別勘定の名称	資産運用関係費（年率）
GW バランス 2	1.232%程度（消費税込）
GW バランス 3	1.364%程度（消費税込）
GW バランス 4	1.518%程度（消費税込）
GW バランス 5	1.694%程度（消費税込）
GW バランス 6	1.793%程度（消費税込）

特別勘定の名称	資産運用関係費（年率）
日本株インデックス225ファンド	0.572%程度（消費税込）
新興国債券インデックスファンド	0.66%程度（消費税込）
海外リートインデックスファンド	0.66%程度（消費税込）
マ　ネ　ー	0.00%～0.198%程度（消費税込）*

＊ 前月の最終５営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に応じた率を用いて各月ごとに決定するため、上限と下限のみを記載しております。

ご注意

・資産運用関係費は信託報酬を記載しています。この他、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

・資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

2. 下記のお取扱いの場合に別途ご負担いただく費用

特別勘定のユニットプライスを計算した後に特定の契約者にご負担いただきます。

項　目	費　用		時　期
積立金移転手数料	1 保険年度に 15 回目までは無料	1 保険年度 16 回目以後の移転について 2,500 円／回	移転時に積立金から控除します。
貸付利息	契約者貸付を受けるとき	貸付金額に対して年率 2.35%	年ごとの契約応当日に積立金から控除します。
解約控除	解約するとき	経過年数に応じて、払込保険料総額に対して 1～8%	解約時・一部解約時に積立金から控除します。
	一部解約するとき	経過年数に応じて、一部解約請求金額に対して 1～8%	

※ 一部解約請求金額が払込保険料総額を上回る場合には、解約控除対象額は払込保険料総額を上限とします。一部解約の際に解約控除対象額として取扱われた金額については、以後の解約控除対象額の計算の対象とする払込保険料総額から控除して取扱います。

※ 契約日（増額日）から 10 年未満で一般勘定で運用する定額年金へ変更した場合には、契約日（増額日）からの経過年数に応じた解約控除がかかります。

＜解約控除率＞

契約日（増額日）からの経過年数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上7年未満	7年以上8年未満	8年以上9年未満	9年以上10年未満	10年以上
解約控除対象額に対する解約控除率	**8%**	**8%**	**7%**	**7%**	**6%**	**5%**	**4%**	**3%**	**2%**	**1%**	**0%**

年金支払期間中にご負担いただく費用

下記の年金管理費を年金支払開始日以後ご負担いただきます。（遺族年金支払特約による年金も含みます。）

項　目	費　用	時　期
年金管理費	年金額に対して 1%	年金支払開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します。

※ 上記費用は上限です。なお、年金支払開始日時点の費用を年金支払期間を通じて適用します。

特別勘定の名称：日本株インデックス225ファンド

インデックスファンド225

倶楽部 Orchid GW

データは2025年7月31日現在

マンスリーレポート

インデックスファンド２２５

追加型投信／国内／株式／インデックス型

ファンドの概要

設　定　日　1988年6月17日
償　還　日　無期限
決　算　日　原則6月16日
収 益 分 配　決算日毎

ファンドの特色

1．日本株式市場全体の動きをとらえ、日経平均トータルリターン・インデックスの動きに連動する投資成果をめざします。
2．「パーラ日本株式モデル」に従って、わが国の金融商品取引所に上場されている株式※の中から、原則として200銘柄以上に投資します。
※東京証券取引所プライム市場に上場されている株式となります。

運　用　実　績

＜基準価額の推移＞

※基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。
※基準価額は当ファンドに過去３年間、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。
※基準価額およびベンチマーク（日経平均トータルリターン・インデックス）は、2022年7月末を100として指数化しています。
※日経平均トータルリターン・インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。

※このレポートでは基準価額および分配金を１万口当たりで表示しています。
※このレポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

基準価額　：　11,497円
純資産総額：　2,957.11億円

＜基準価額の騰落率＞

	１ヵ月	３ヵ月	６ヵ月	１年	３年
当ファンド	1.40%	13.97%	4.60%	6.45%	54.15%
ベンチマーク	1.44%	14.14%	4.91%	7.09%	56.90%

※基準価額の騰落率は当ファンドに過去３年間、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。
※ベンチマークは、日経平均トータルリターン・インデックス

＜分配金実績（税引前）＞

第33期	第34期	第35期	第36期	第37期
2021/6/16	2022/6/16	2023/6/16	2024/6/17	2025/6/16
90円	90円	120円	130円	0円

＜資産構成比率＞

株式	99.9%
うち先物	1.2%
現金その他	1.4%

＜株式組入上位５業種＞

	業種	比率
1	電気機器	27.1%
2	情報・通信業	12.3%
3	小売業	12.1%
4	化学	5.6%
5	医薬品	5.6%

※「資産構成比率」「株式組入上位10銘柄」の比率は純資産総額を、「株式組入上位5業種」の比率は組入株式の評価額の合計を、それぞれ100%として計算したものです。
※「株式組入上位5業種」「株式組入上位10銘柄」はマザーファンドの状況です。業種は東証33業種分類によるものです。
※「資産構成比率」はマザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率です。

＜株式組入上位10銘柄＞（銘柄数：　225銘柄）

	銘　柄	業種	比率
1	ファーストリテイリング	小売業	9.09%
2	アドバンテスト	電気機器	6.76%
3	東京エレクトロン	電気機器	6.70%
4	ソフトバンクグループ	情報・通信業	5.79%
5	ＫＤＤＩ	情報・通信業	2.44%
6	ＴＤＫ	電気機器	2.28%
7	リクルートホールディングス	サービス業	2.22%
8	中外製薬	医薬品	1.80%
9	信越化学工業	化学	1.80%
10	ファナック	電気機器	1.74%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

日経平均株価の概況

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

７月の国内株式市場は、東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）が前月末比プラス3.16%、日経平均株価が同プラス1.44%となりました。上旬から中旬にかけては、米国の日本に対する輸入関税の不透明感や、与党が参議院選挙において苦戦しているとの報道が相次ぎ、拡張的な財政政策を掲げる野党の勢力が拡大するとの予想を受けて長期金利が上昇したことなどが重しとなり、国内株式市場は下落しました。下旬は、日本と米国との関税交渉の妥結を受けて、相互関税による景気の悪化懸念が後退するとの期待が広がったことや、日銀が金融政策決定会合で政策金利の据え置きを決めたことが好感され、国内株式市場は上昇しました。

東証33業種分類では、非鉄金属、石油・石炭製品、銀行業などの31業種が上昇する一方、その他製品、小売業の２業種が下落しました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

nikko am 日興アセットマネジメント
URL www.nikkoam.com/

募集代理店
SMBC日興証券

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

引受保険会社
三井住友海上プライマリー生命
MS&AD INSURANCE GROUP

特別勘定の名称：新興国債券インデックスファンド

新興国債券インデックスファンド

倶楽部 Orchid GW

データは2025年7月31日現在

マンスリーレポート

新興国債券インデックスファンド（適格機関投資家向け）

ファンドの概要

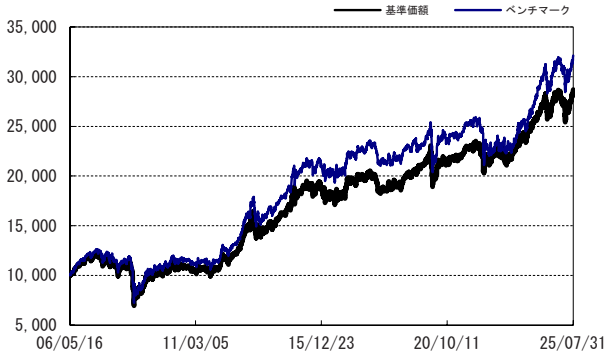
設　定　日　2006年5月17日
償　還　日　無期限
決　算　日　原則5月16日、11月16日
収 益 分 配　決算日毎

ファンドの特色

ＪＰモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・プラス（ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。

運　用　実　績

＜基準価額の推移＞



※基準価額は当ファンドに、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。
※ベンチマークはＪＰモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・プラス（ヘッジなし・円ベース）です。
※基準価額およびベンチマークは設定日の前営業日を10,000として指数化しています。

※このレポートでは基準価額および分配金を１万口当たりで表示しています。
※当レポートのグラフ、数値などは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

基準価額　：　28,132円
純資産総額　：　2.69億円

＜基準価額の騰落率＞

	１ヵ月	３ヵ月	６ヵ月	１年	３年	設定来
当ファンド	4.08%	8.46%	1.31%	7.13%	28.25%	187.23%
ベンチマーク	4.23%	8.81%	1.68%	8.50%	40.49%	221.32%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

＜分配金実績（税引前）＞

23･5･16	23･11･16	24･5･16	24･11･18	25･5･16
10円	10円	10円	0円	0円

＜資産構成比率＞

債券	97.6%
うち先物	0.0%
現金その他	2.4%

＜債券国別上位５ヵ国＞

	国　名	比　率
1	サウジアラビア	10.0%
2	トルコ	9.4%
3	アルゼンチン	7.9%
4	メキシコ	7.9%
5	ポーランド	6.1%

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。

＜債券組入上位10銘柄＞　（銘柄数　105 銘柄）

	銘　柄	種　別	利　率	通　貨	比　率
1	REPUBLIC OF ARGENTINA	国債	4.125%	アメリカドル	2.9%
2	REPUBLIC OF TURKEY	国債	8.6%	アメリカドル	2.2%
3	REPUBLIC OF ECUADOR	国債	3.5%	アメリカドル	2.1%
4	FED REPUBLIC OF BRAZIL	国債	5.5%	アメリカドル	1.7%
5	REPUBLIC OF ARGENTINA	国債	0.75%	アメリカドル	1.7%
6	REPUBLIC OF ARGENTINA	国債	5%	アメリカドル	1.7%
7	REPUBLIC OF TURKEY	国債	9.875%	アメリカドル	1.7%
8	SAUDI INTERNATIONAL BOND	国債	5.75%	アメリカドル	1.7%
9	SAUDI INTERNATIONAL BOND	国債	5.5%	アメリカドル	1.6%
10	ABU DHABI GOVT INT'L	国債	5.5%	アメリカドル	1.6%

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。
※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

市　況　概　況

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

７月の新興国債券指数は上昇しました。米長期金利が上昇して始まり、相対的に高金利の新興国債券市場の投資魅力が薄れたことなどが重しとなったものの、米国と日本や欧州連合（ＥＵ）などが貿易交渉で合意し世界経済の停滞を招くとの懸念が和らいだこと、米国連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）の利下げ期待の高まりを受けて米長期金利が低下したことなどから、新興国債券指数は上昇しました。

■当ファンド（マザーファンドを含みます。）は、主に債券など値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の債券の価格変動は、先進国の債券の値動きに比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。

nikko am 日興アセットマネジメント

募集代理店
SMBC日興証券

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

引受保険会社
三井住友海上プライマリー生命
MS&AD INSURANCE GROUP

特別勘定の名称：GWバランス２

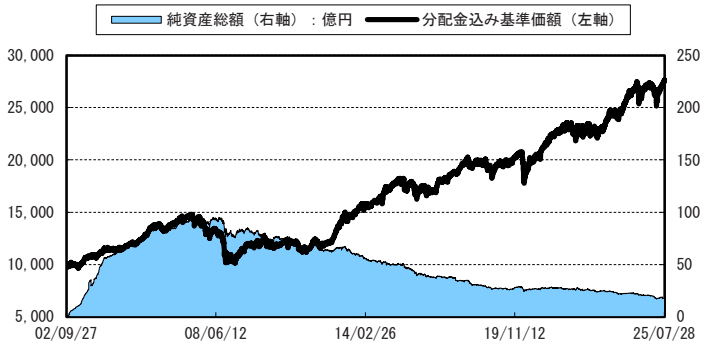
グローバル・ラップ・バランス安定成長型

倶楽部 Orchid GW

グローバル・ラップ・バランス 安定成長型

基準日　2025年7月31日

◆基準価額の推移グラフ



※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	26,890円
純資産総額	17.85億円

◆月間の収益分解

GWバランス　安定成長型	1.39%
日本大型株式	0.39%
日本小型株式	0.38%
日本債券	−0.38%
北米株式	0.69%
欧州先進国株式	0.03%
アジア太平洋株式	0.15%
海外債券	0.13%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

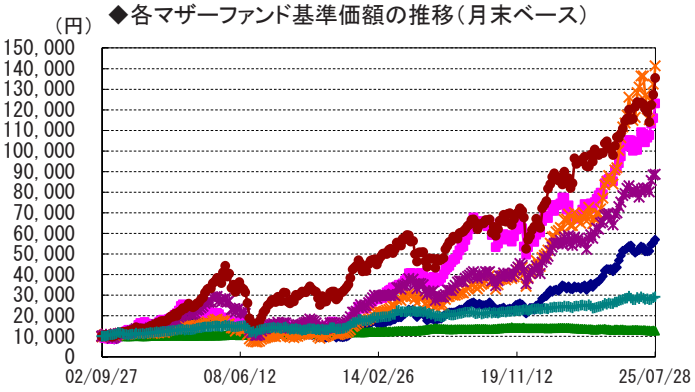
	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	5.44 %	1.61 %	3.68 %	6.36 %	6.93 %	4.30 %	4.53 %
ベンチマーク収益率	−	−	−	−	−	−	−
差　異	−	−	−	−	−	−	−
ファンドリスク（分配金再投資）			4.76 %	5.81 %	6.01 %	6.56 %	7.05 %
ベンチマークリスク			−	−	−	−	−

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。
※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

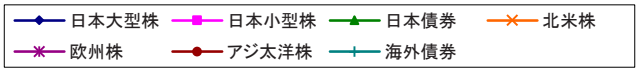
◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	12.00 %	14.71 %
日本小型株式	7.00 %	6.66 %
日本債券	51.00 %	48.43 %
北米株式	12.00 %	10.79 %
欧州先進国株式	7.00 %	7.38 %
アジア太平洋株式	2.00 %	2.65 %
海外債券	9.00 %	8.43 %
短期資産その他	0.00 %	0.95 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）



※設定日（2002年9月27日）を10,000円として指数化しています。



運用：日興アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社」が資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

特別勘定の名称：GWバランス３

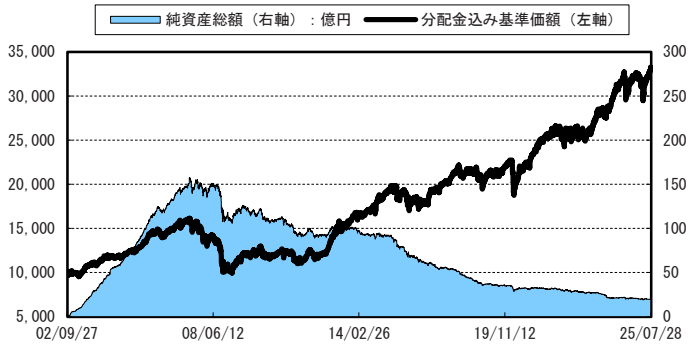
グローバル・ラップ・バランス成長型

倶楽部 Orchid GW

グローバル・ラップ・バランス 成長型

基準日　2025年7月31日

◆基準価額の推移グラフ



※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	32,378円
純資産総額	19.60億円

◆月間の収益分解

GWバランス　成長型	1.87%
日本大型株式	0.48%
日本小型株式	0.44%
日本債券	−0.29%
北米株式	0.85%
欧州先進国株式	0.04%
アジア太平洋株式	0.20%
海外債券	0.15%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

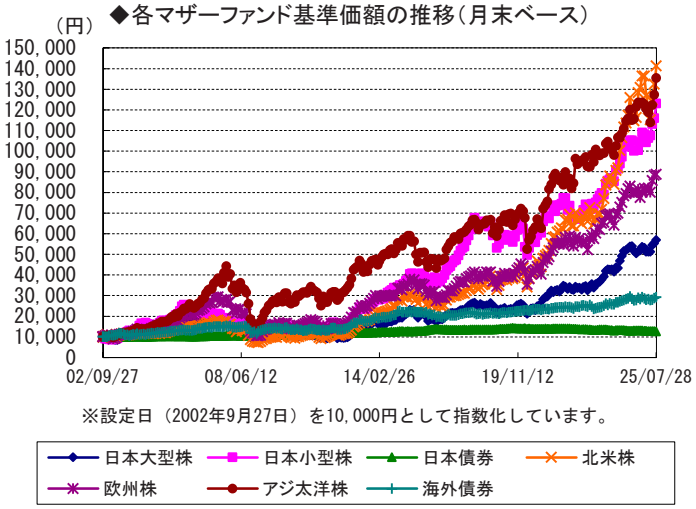
	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	7.09 %	2.61 %	5.39 %	8.69 %	9.17 %	5.37 %	5.38 %
ベンチマーク収益率	−	−	−	−	−	−	−
差　異	−	−	−	−	−	−	−
ファンドリスク（分配金再投資）			5.91 %	6.88 %	7.23 %	8.14 %	8.77 %
ベンチマークリスク			−	−	−	−	−

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。
※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	15.00 %	17.96 %
日本小型株式	7.00 %	7.64 %
日本債券	40.00 %	37.98 %
北米株式	15.00 %	13.12 %
欧州先進国株式	10.00 %	9.47 %
アジア太平洋株式	3.00 %	3.50 %
海外債券	10.00 %	9.33 %
短期資産その他	0.00 %	0.99 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）



※設定日（2002年9月27日）を10,000円として指数化しています。

運用：日興アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社」が資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

特別勘定の名称：GWバランス４

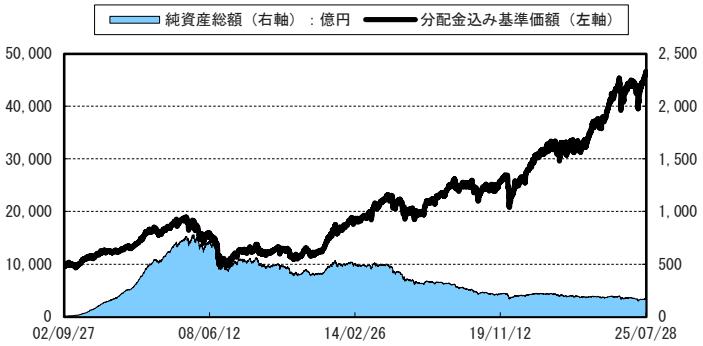
グローバル・ラップ・バランス積極成長型

倶楽部 Orchid GW

グローバル・ラップ・バランス 積極成長型

基準日　2025年7月31日

◆基準価額の推移グラフ



※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	44,884円
純資産総額	166.59億円

◆月間の収益分解

GWバランス　積極成長型	2.63%
日本大型株式	0.68%
日本小型株式	0.51%
日本債券	−0.14%
北米株式	1.10%
欧州先進国株式	0.06%
アジア太平洋株式	0.25%
海外債券	0.17%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

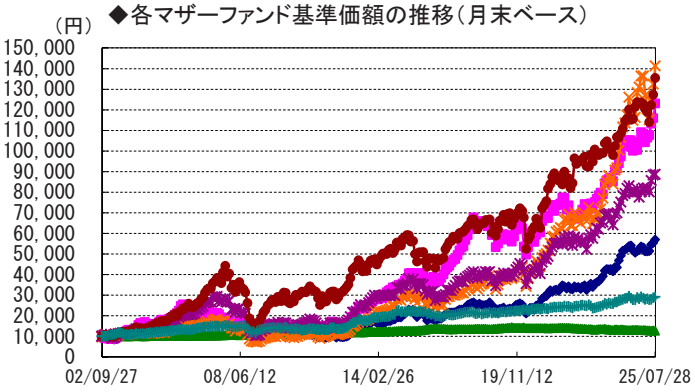
	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	9.83 %	4.29 %	7.86 %	12.76 %	13.35 %	7.35 %	6.93 %
ベンチマーク収益率	−	−	−	−	−	−	−
差　異	−	−	−	−	−	−	−
ファンドリスク（分配金再投資）			7.95 %	8.87 %	9.47 %	10.97 %	11.81 %
ベンチマークリスク			−	−	−	−	−

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。
※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

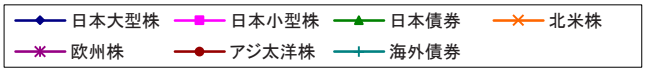
◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	21.00 %	25.12 %
日本小型株式	8.00 %	8.84 %
日本債券	21.00 %	19.24 %
北米株式	20.00 %	16.82 %
欧州先進国株式	14.00 %	13.64 %
アジア太平洋株式	4.00 %	4.28 %
海外債券	12.00 %	11.07 %
短期資産その他	0.00 %	0.99 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）



※設定日（2002年9月27日）を10,000円として指数化しています。



運用：日興アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社」が資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

特別勘定の名称：ＧＷバランス５

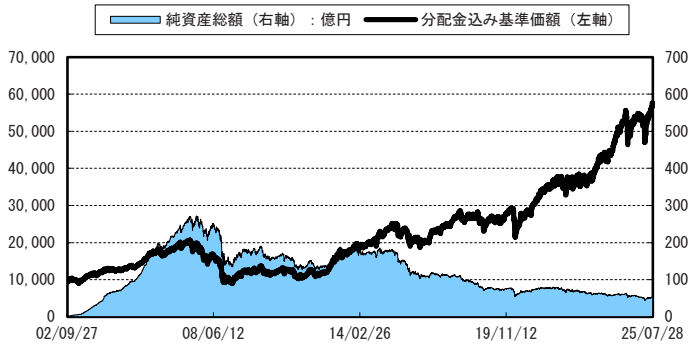
グローバル・ラップ・バランス積極型

倶楽部 Orchid GW

グローバル・ラップ・バランス 積極型

基準日　2025年7月31日

◆基準価額の推移グラフ



※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	55,564円
純資産総額	52.66億円

◆月間の収益分解

GWバランス　積極型	3.34%
日本大型株式	0.84%
日本小型株式	0.59%
日本債券	-0.01%
北米株式	1.30%
欧州先進国株式	0.08%
アジア太平洋株式	0.36%
海外債券	0.18%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

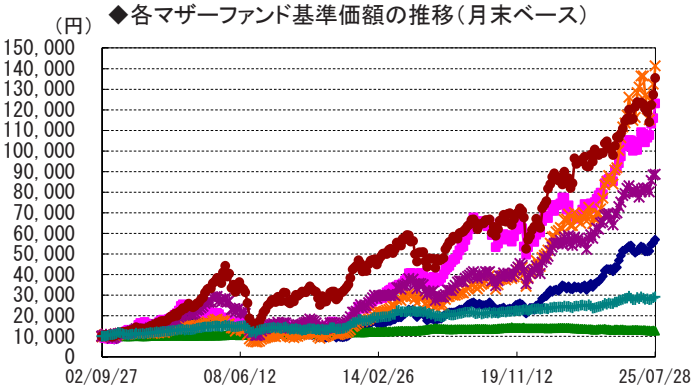
	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	12.31 %	5.87 %	9.99 %	16.12 %	16.77 %	8.80 %	7.93 %
ベンチマーク収益率	－	－	－	－	－	－	－
差　異	－	－	－	－	－	－	－
ファンドリスク（分配金再投資）			9.69 %	10.52 %	11.34 %	13.32 %	14.36 %
ベンチマークリスク			－	－	－	－	－

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。
※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	26.00 %	30.85 %
日本小型株式	9.00 %	10.09 %
日本債券	5.00 %	3.34 %
北米株式	23.00 %	20.06 %
欧州先進国株式	17.00 %	16.84 %
アジア太平洋株式	6.00 %	6.14 %
海外債券	14.00 %	11.74 %
短期資産その他	0.00 %	0.93 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）



※設定日（2002年9月27日）を10,000円として指数化しています。

運用：日興アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社」が資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

特別勘定の名称：GWバランス６

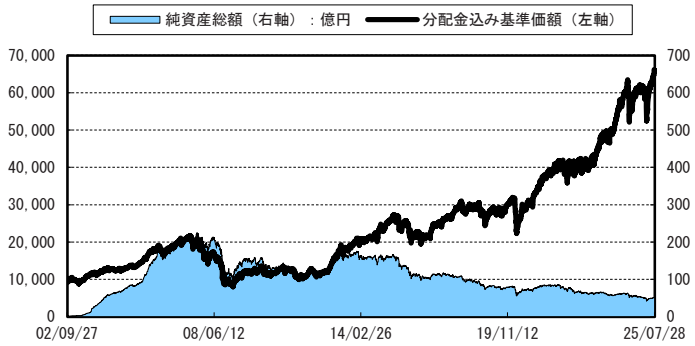
グローバル・ラップ・バランス超積極型

倶楽部 Orchid GW

グローバル・ラップ・バランス 超積極型

基準日　2025年7月31日

◆基準価額の推移グラフ



※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	63,719円
純資産総額	51.14億円

◆月間の収益分解

GWバランス　超積極型	3.41%
日本大型株式	1.03%
日本小型株式	0.54%
日本債券	0.00%
北米株式	1.30%
欧州先進国株式	0.11%
アジア太平洋株式	0.43%
海外債券	0.00%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

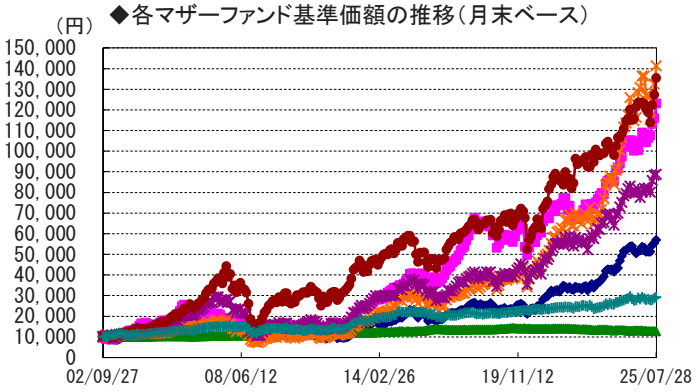
	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	13.48 %	6.74 %	10.61 %	17.70 %	18.21 %	9.43 %	8.58 %
ベンチマーク収益率	－	－	－	－	－	－	－
差　異	－	－	－	－	－	－	－
ファンドリスク（分配金再投資）			10.33 %	11.34 %	12.29 %	14.82 %	16.24 %
ベンチマークリスク			－	－	－	－	－

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。
※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	30.00 %	37.51 %
日本小型株式	8.00 %	9.44 %
日本債券	0.00 %	0.00 %
北米株式	28.00 %	19.92 %
欧州先進国株式	26.00 %	24.77 %
アジア太平洋株式	8.00 %	7.37 %
海外債券	0.00 %	0.00 %
短期資産その他	0.00 %	0.98 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）



※設定日（2002年9月27日）を10,000円として指数化しています。

運用：日興アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社」が資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社のコメント

倶楽部 Orchid GW

世界の市況・経済動向

2025年８月14日
ＳＭＢＣグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第449号

■ 市況概況（7月）

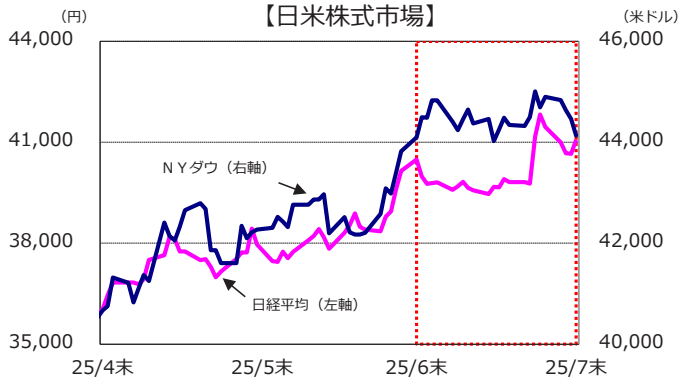
資産	コメント
日本株式	日経平均は、月の中旬までは日米通商協議や参議院選挙を巡る不透明感を背景に軟調に推移し、下旬には日米間の関税合意や参議院選挙での与党過半数割れを受けた積極財政への期待感から反発。月間で+1.44%。TOPIXは+3.16%。
外国株式	米国市場では、各国との通商協議の進展や企業の好業績、減税法案の可決などを背景に月を通じて堅調に推移。欧州市場は、月の上旬には米欧通商協議の合意観測から堅調に推移も、その後は企業業績への懸念やユーロ圏の利下げ観測の後退を受けて上値の重い展開。月間でNYダウ+0.08%、ナスダック+3.70%、独DAX+0.65%、英FT+4.24%。
日本債券	10年国債利回りは上昇。月の上旬は入札の不調や参議院選挙を控え与党が過半数割れするとの思惑から財政悪化懸念が広まり軟調に推移。その後、押し目買いが入るも日米間の関税合意を受け投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、金利が上昇する場面も見られた。月末は1.545%。
外国債券	外国債券相場は下落。米10年国債利回りは上昇。月の上旬は米国で減税法案の可決や堅調な米雇用統計からインフレ再燃が意識され金利上昇、月の後半には米関税政策を背景に景気後退懸念が広まり金利上昇幅は縮小。月末は4.374%。独10年国債利回りは上昇。月の上旬は米長期金利の上昇、ドイツの財政懸念や国債入札不調などから金利上昇。月の後半には通商協議を巡る懸念や強弱入り混じる企業決算などを背景に買い戻されるも、欧州中央銀行（ECB）理事会にて９月の利下げ見送りが示唆され軟調な推移。月末は2.695%。
為替	円/ドル相場は、米雇用統計とISM非製造業景況指数が市場予想を上回ったことから米インフレ再燃が懸念されたことや、日米の金融政策が現状維持になったことなどを受けて、円売り･ドル買いが進行。月末は1ドル=150円台。 円/ユーロ相場は、ECBの利下げサイクルの終了観測が広まり、日欧金利差縮小の可能性低下が意識されたことに加え、米政権による関税措置を受けた円売り・米ドル買いの影響もあり、円売り･ユーロ買いが進行。月末は1ユーロ=172円台。

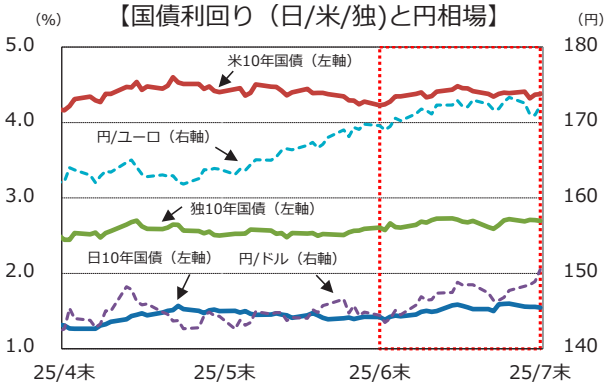
■ 当面の見通し

世界経済は、各国の対米通商協議が進展し不確実性は低下したものの、関税引き上げによりグローバルで一旦減速し、その後各国経済対策などにより回復に向かうとみられる。米国では米関税政策の経済・物価への影響が今後徐々に顕在化する可能性が高く、年後半はインフレ加速や景気減速が見込まれるが、来年以降は減税効果などにより持ち直すと予想される。欧州では、米国の関税引き上げにより生産や輸出が減少し、当面は景気停滞が予想されるが、利下げの累積効果やインフレ鎮静化、防衛費や財政支出の拡大が下支えとなり、大幅な減速は回避される見込みである。日本では、物価高継続下でもサービス消費中心に個人消費は底堅く、企業の景況感も堅調で、政治・財政不安はあるものの、米関税政策の悪影響で一旦減速後、緩やかに持ち直すとみられる。新興国では中国において、米中合意後の高関税引き下げにより生産・輸出が持ち直し、政府の内需支援策も効果がでているが、国内需要は全体的に伸び悩んでおり、年後半の積極的な経済対策が期待される。

金融政策に関しては、米当局は労働市場と物価指標を注視しつつ様子見姿勢を継続しており、労働市場の鈍化が明確になった段階で、インフレ率が高止まりしていたとしても利下げに踏み込むとみられる。欧州では、経済・物価が当局の予想通り安定していることから、7月に8会合ぶりに政策金利を据え置き、米関税政策による景気下振れ時の対応余地を残しつつ、当面は様子見姿勢を継続する見込みである。日銀は、利上げ方針を維持するも、7月会合では景気下振れ懸念から政策金利を据え置き、米関税政策が国内企業業績や物価に与える影響を注視しつつ、当面は政策維持の見通しである。金融市場では、日米欧各当局が米関税政策の影響が顕在化した場合に柔軟な対応をするべく、経済・物価指標を注視しながら様子見姿勢を維持している。

世界株式市場では、関税引き上げの影響顕在化への懸念は残るものの、日欧の対米通商協議合意により企業業績の不透明感は和らぎ、米ハイテク株中心の業績上方修正期待や米利下げ再開期待、欧州の財政拡張や日本の良好な需給環境・経済対策期待などが下支えとなるだろう。**世界債券市場**については、海外長期金利は米利下げ期待が高まりつつも米欧財政懸念から低下余地は限定的とみられ、国内長期金利は政治・財政不安や日銀利上げ方針維持から上昇基調が見込まれる。**為替市場**に関しては、米利下げ期待と日銀利上げ方針維持が円高要因に、日本の財政悪化懸念が円安要因となり、対ドルではもみ合いが予想される一方で、対ユーロではECB利下げ休止などから円安方向へ動きやすいとみられる。





・信頼できると判断したデータをもとにＳＭＢＣグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社が作成。・各グラフは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は情報提供を目的としてSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社（以下、「当社」）が作成したものであり、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると思われる情報に基づき作成されていますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された見解や予測は、資料作成時点でのものであり、事前の通知なしに変更することがあります。投資に関する最終的なご判断は、お客様ご自身でしていただきますようお願い申し上げます。なお、当資料で使用したグラフおよび数値は、過去の実績であり、将来を約束するものではありません。当社は、投資助言業務を行う場合には、顧客を相手方として、または顧客のために証券取引行為を行うことはいたしません（ただし、投資一任業務を行う場合はこの限りではありません）。いかなる名目によるかを問わず、顧客に提供した投資助言業務に関して、顧客から金銭もしくは有価証券の預託を受けること、または当社と密接な関係にある者に顧客の金銭もしくは有価証券の預託を受けさせることもいたしません。

特別勘定の名称：マネー

SMAM・FGマネーファンドVA

倶楽部 Orchid GW

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

三井住友DSアセットマネジメント

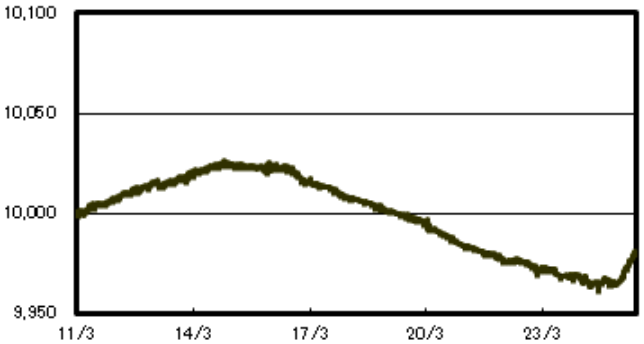
【SMAM・FGマネーファンドVA】

主として、マネーインカム・マザーファンドへの投資を通じて、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

作成基準日：2025年7月31日

● 設定来の運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ 基準価額は、2011年3月3日を10,000とした指数として表示しております。
■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

●基準価額および純資産総額

	7月31日	前月比
基準価額(円)	9,980	2
純資産総額(百万円)	312	24

●騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	0.02%	0.08%	0.15%	0.17%	−0.20%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。設定来は2011年3月3日を基準とします。上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

●信託報酬率(年率)

2025年7月31日現在	0.0000%

※上記信託報酬率は税抜きです。

●資産構成

債券	70.0%
先物等	0.0%
短期金融商品・現金等	30.0%
合計	100.0%

●ポートフォリオ概況

クーポン(%)	0.02
残存年数(年)	0.36
修正デュレーション(年)	0.36
最終利回り(%)	0.36

●格付構成

AAA格	70.0%
AA格	0.0%
A格	0.0%
BBB格	0.0%
BB格以下	0.0%

●債券種別構成

国債	70.0%
政府保証債	0.0%
地方債	0.0%
金融債	0.0%
事業債	0.0%
円建外債	0.0%
その他	0.0%

●残存年月別構成

1年未満	70.0%
1-3年	0.0%
3-7年	0.0%
7-10年	0.0%
10年以上	0.0%

※構成比を示す比率は全て当ファンドの純資産総額対比です。

特別勘定の名称：海外リートインデックスファンド

海外先進国REITインデックスファンド

倶楽部 Orchid GW

データは2025年7月31日現在

マンスリーレポート

海外先進国ＲＥＩＴインデックスファンド（適格機関投資家向け）

ファンドの概要

設　定　日　2006年10月6日
償　還　日　無期限
決　算　日　原則6月15日
収 益 分 配　決算日毎

ファンドの特色

Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）に連動した投資成果を目標として運用を行ないます。

運　用　実　績

※このレポートでは基準価額および分配金を１万口当たりで表示しています。
※当レポートのグラフ、数値などは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

＜基準価額の推移＞

※基準価額は当ファンドに、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。
※ベンチマークはＳ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）です。
※基準価額およびベンチマークは設定日の前営業日を10,000として指数化しています。

基準価額　：　22,542円
純資産総額　：　6.90億円

＜基準価額の騰落率＞

	1ヵ月	３ヵ月	６ヵ月	１年	３年	設定来
当ファンド	3.97%	8.95%	-1.40%	1.02%	16.67%	128.69%
ベンチマーク	4.05%	9.08%	-1.45%	1.04%	16.94%	134.28%

※基準価額は当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

＜分配金実績（税引前）＞

21･6･15	22･6･15	23･6･15	24･6･17	25･6･16
10円	10円	10円	10円	0円

＜資産構成比率＞

不動産投信	99.2%
現金その他	0.8%

＜国別上位５ヵ国＞

	国　名	比　率
1	アメリカ	77.0%
2	オーストラリア	7.8%
3	イギリス	4.2%
4	シンガポール	3.3%
5	フランス	2.1%

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。

＜不動産投信 組入上位10銘柄＞（銘柄数 288銘柄）

	銘　柄　名	国　名	比率
1	WELLTOWER INC	アメリカ	6.9%
2	PROLOGIS INC	アメリカ	6.8%
3	EQUINIX INC	アメリカ	5.2%
4	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ	3.8%
5	REALTY INCOME CORP	アメリカ	3.4%
6	SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ	3.4%
7	GOODMAN GROUP	オーストラリア	3.1%
8	PUBLIC STORAGE	アメリカ	3.1%
9	VICI PROPERTIES INC	アメリカ	2.3%
10	EXTRA SPACE STORAGE INC	アメリカ	2.1%

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。

市　況　概　況

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

７月のＳ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（除く日本）は、前月末と比べて上昇しました。

米国ＲＥＩＴ指数は、前月末と比べて上昇しました。インフレ再燃への警戒感などから米国の長期金利が上昇したことがＲＥＩＴ価格の重しとなったものの、大型減税・歳出法案が連邦議会で可決されたことや堅調な雇用統計などを背景に米国景気の鈍化懸念が和らいだこと、貿易交渉において日本に続き欧州連合（ＥＵ）とも当初の関税率を引き下げることで合意し米国の関税政策を巡る先行き不透明感が後退したこと、発表されたＲＥＩＴ各社の決算内容が概ね好調であったことなどから、同指数は上昇しました。

欧州ＲＥＩＴ指数は、前月末と比べて下落しました。インフレ再燃への警戒感などから欧米の長期金利が上昇したことや、英国政権による歳出削減計画が支持を得られず縮小を余儀なくされた状況下で英国財務相の退任観測が浮上し英国のＲＥＩＴが一時売られたこと、米国とＥＵが貿易交渉で合意したものの、内容に不透明な部分が多く欧州側に不利との見方が強まったことなどから、同指数は下落しました。

オーストラリアＲＥＩＴ指数は、前月末と比べて上昇しました。オーストラリア準備銀行（ＲＢＡ）が市場の利下げ予想に反して政策金利を据え置いたことや、オーストラリアの長期金利が上昇したことなどがＲＥＩＴ価格の重しとなったものの、米国と日本やＥＵとの貿易交渉の合意が貿易摩擦激化懸念の緩和を促し世界的に株価が上昇したこと、オーストラリアの雇用統計や消費者物価指数（ＣＰＩ）が市場予想よりも弱い結果となりＲＢＡによる利下げの期待が高まったことなどがＲＥＩＴ価格の支援材料となり、同指数は上昇しました。

■当ファンド（マザーファンドを含みます。）は、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に不動産など値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

nikko am 日興アセットマネジメント

募集代理店
SMBC日興証券

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

引受保険会社
三井住友海上プライマリー生命
MS&AD INSURANCE GROUP

募集代理店

SMBC日興証券株式会社

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

〒103-0028　東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

資料請求・お問合わせ
フリーダイヤル　0120-125-104
https://www.ms-primary.com